

TRACE32® – Freescale® S32V プロセッサ・ファミリのサポートを開始

2015 年 12 月 ヘーエンキルヒエン=ジーガーツブルン

マイクロプロセッサ開発ツールのトップメーカーであるローターバッハ社は、Freescale® S32V プロセッサ・ファミリのサポートを開始したことを発表しました。

S32V プロセッサ・ファミリは、ARM Cortex®-A コアおよび、APEX 画像認識処理コアが統合されており、画像処理用の計算集約型アプリケーションをサポートします。

ローターバッハ社の TRACE32 ツールは、ARM Cortex コアを以前よりサポートしてきました。APEX アーキテクチャのサポートも開始された今、S32V プロセッサのデバッグ & トレースをフルサポートすることが可能となりました。標準 JTAG インターフェースを経由して、実行制御、OS サポート、マルチコアデバッグ、オンチップトレースを含むデバッグプロセス全体にわたり、迅速で効果的な S32V プロセッサ・デバッグ機能を提供します。デバッグツールへの接続は、USB 3.0 または高速なイーサネットポート経由で行われます。TRACE32 Power View ソフトウェアは、効率的かつユーザーフレンドリーな C/C++ 用高級言語 (HLL) デバッグ機能を提供します。

TRACE32 のトレースツールは、複数のターゲットコアを統合されたトレースポートに接続し、プログラムフロー情報をコアから直接リアルタイムで記録します。この記録機能により、開発者は実実行環境下でのみ生じる複雑なエラーを迅速かつ論理的に検出することができます。さらに、タイムスタンプが付いたプログラムフローによるシステム性能解析だけでなく、コードカバレッジ、キャッシュ解析等のソフトウェア品質評価機能も提供します。

フリースケール社のグローバル ADAS プロダクトラインマネージャー、David Santo 氏は次のように述べています。「S32V ビジョン・プロセッサ・ファミリは、先進運転者支援システム (ADAS) アプリケーション用の車載グレード性能を提供します。フリースケール社は、世界最高クラスのデバイスで、直感的な、統合された開発/実現化体験を開発者に提供すべく尽力しています。TRACE32 ツールに統合されている Cortex/APEX コアに対応したヘテロジニアスデバッグサポートは、フリースケール社の実現化/テクノロジー・リーダーシップの中心となる重要な取り組みです」

LAUTERBACH, TRACE32 μTrace and other LAUTERBACH products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of LAUTERBACH. All other product and service names mentioned are the trademarks of their respective companies.